

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人ながのコロニー

社会福祉法人ながのコロニー 令和5年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

- ・ 入所利用者数は、前年度と比較して2人減少した。2人はいずれも他の施設への入所による退所であった。
- ・ 通所利用者数は、前年度と比較して2人増加した。新規に7人が利用を開始したが5人が退所した。
- ・ グループホームは、利用者の増減がなかった。
- ・ 就労継続支援A型の利用者は、印刷2人、縫製2人、管理1人を採用し、印刷2人、縫製1人が退職した。

(単位:人)

区 分		定員	R5.3.31 現在	入所	退所	R6.3.31 現在
ワークサポート 篠ノ井	施設入所支援	40	20		1	19
	生活介護	40	42	2	1	43
	就労継続支援B型	20	17	2		19
ハートフル五明	施設入所支援	40	22		1	21
	生活介護	40	23		1	22
はあてい若槻	生活介護	16	12	1	3	10
	就労継続支援B型	25	27	2		29
地域生活支援センター		12	6			6
長野福祉工場		40	36	5	3	38
計		273	205	12	10	207

○ 職員の状況

- ・ 福祉施設部門では、R5.4.2～R6.4.1までの間に、退職者8人に対し10人採用した。
- ・ 福祉工場では、利用者以外の職員の退職者4人に対して3人採用し、1人を内部異動により補充した。

(単位:人)

区 分	R5.4.1 採用	R5.4.1 現在	4.2～ 3.31 採用	人事 異動 (内部)	4.1～ 3.31 退職	R6.4.1 採用	R6.4.1 現在
総務部		6	1	△1	△1	1	6
ワークサポート篠ノ井	1	17		△1			16
ハートフル五明	1	19	1		△2	1	19
はあてい若槻		14					14
あいくる		1		1			2

すまいる	2	8	2		△3		7
地域生活支援センター		5					5
長野福祉工場		26	1	1	△4	2	26
長野福祉工場(利用者)	2	38	3		△4	1	38
計	6	134	8	0	△14	5	133

※兼務は、主たる事業所で人数に入れる。ワークサポート篠ノ井は、理事長含む。

※4.1 現在の人数には、R5 と R6 それぞれ 4.1 付け採用数が含まれている。

○ 経営概況

- ワークサポート篠ノ井は、利用人数の増加や市・県からの助成金等によりサービス活動収益計が前年比増となり、人件費・光熱費の減と修繕費・保守料の増、拠点区分繰入金支出等により、当期活動増減差額は152万円の赤字となったが、前年比741万円赤字幅を減らすことができた。
- ハートフル五明は、利用人数は減少したもののサービス活動収益計は前年比増となり、人件費や物価高による修繕費・委託料の増があったが当期活動増減差額は2万円の黒字となった。
- はあてい若槻は、利用人数の増加や200万円の寄附金などにより、サービス活動収益計が前年比増となった。
物価高による委託費等の増があったものの、日本財団からの福祉車両購入に伴う補助金等もあり、当期活動増減差額は49万円の黒字を維持した。
- 長野福祉工場の印刷事業、縫製事業の就労支援事業収益は、前期比2,674万円増収となり、障害福祉サービス等事業収益は、前期比182万円の増収となったことにより、サービス活動収益は前期比2,915万円の増収となった。しかし、サービス活動費用は材料費、労務費、外注加工費が増加したことにより、サービス活動増減差額は前期比937万円の悪化となり、また、当期活動増減差額も前期比727万円悪化したものの645万円の黒字を確保した。
- 令和4年度までの繰越金のうち、将来のための積立資産を、ワークサポート篠ノ井1,536万円、ハートフル五明2,023万円、はあてい若槻5,100万円、すまいる100万円積み立てた。
- 各拠点区分間の繰入・繰出では、ワークサポート篠ノ井、はあてい若槻、すまいるから、地域生活支援センター(グループホーム)、ハートフル五明、本部とあいくるへ繰り出した。
- 法人全体として、就労支援事業収益は前期比2,595万円、障害福祉サービス等事業収益は1,010万円の増収となり、費用では人件費の増や物価高騰の影響を受け増加したが、当期活動増減差額は前期比908万円悪化したものの435万円の黒字を確保した。

I 法人本部（総務部）

- 1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2-1 新型コロナウイルス感染症等の対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対策として、マスク着用、体温測定、手指消毒、3密回避を継続するとともに、嘱託医の協力を得て、篠ノ井施設において入所者へワクチン接種を2回実施した。
- ・ 国等から配布された新型コロナウイルス感染症抗原検査簡易キットを活用し、陽性者の早期発見による感染拡大防止のため、必要に応じて検査を実施した。
- ・ ワークサポート篠ノ井で、12月から1月にかけて、利用者13人、調理員含め職員5人が感染するクラスターが発生した。
- ・ 法人として「ながのコロニー感染対策指針」を策定し、指針に基づく感染対策委員会を立ち上げた。また、「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）」を策定した。法人の指針・計画を踏まえて事業所ごとに指針・計画等を整備し、必要に応じて更新していく。
- ・ インフルエンザ対策要領と新型コロナウイルス対策要領を一本化し、「ながのコロニーインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症対策要領」を策定した。
- ・ インフルエンザ対策として、利用者及び職員に対し予防接種者への補助金を引続き交付し、接種を勧奨した。

2-2 災害等の対策

- ・ 5月26日 篠ノ井施設、5月24日 はあてい若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。
- ・ 10月18日 篠ノ井施設、10月11日 はあてい若槻、長野福祉工場及びうわのほ〜むの秋季防災訓練を地元防災役員等の参加を得て実施した。
- ・ 10月10日 さいなみほ〜む及びグループホームせはらだの防災訓練を実施した。
- ・ 9月9日 伝達用メーリングリストを整備し、全職員を対象に緊急時の伝達訓練を実施した。
- ・ 法人として「自然災害発生時における業務継続計画（BCP）」を策定した。法人の計画を踏まえて事業所ごとに計画等を整備し、必要に応じて更新していく。

3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防のため、篠ノ井施設のコロニー祭、若槻施設のコロニーまつりを中止した。代替行事として、外部の人は招かずに篠ノ井施設で納涼・七夕週間、ハロウィンウィークを開催した。また、外出がなかなかできない中で、テイクアウトによるハンバーガー、スイーツの提供等により、入所者や利用者の気分転換を図った。
- ・ 広報誌ながのコロニー第22号を発行した。

- ・ 法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施し、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。また、自由記載欄を含むハラスメントに関するアンケート調査を実施した。
- ・ 深夜業務従事職員に年2回の健康診断を実施した。
- ・ 新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。
- ・ 安全衛生委員会(福祉工場)及び衛生委員会(篠ノ井施設)を毎月開催し、職場巡視等を行うとともに、安全衛生年間計画に基づく活動に取り組んだ。
- ・ 車両の整備、アルコールチェックの義務化など、車両管理規定に基づき事故防止等に努めた。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修をオンライン研修中心に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 入所事業一元化を見据え、適材適所・適正人員の配置を行いつつ、欠員補充のため正規職員を採用した(R5. 10. 16 付1名、R6. 1. 16 付1名、R6. 4. 1 付1名)。
- ・ 県の最低賃金の引き上げに伴い、R5. 4. 1 嘱託職員の給料表を改正して、給与月額を引き上げた。また、10月1日からパート職員の賃金の一部を引き上げた。
- ・ 令和5年6月、施設職員の処遇改善手当並びに福祉工場職員の処遇改善金支給基準を改正した。
- ・ 非正規職員が能力を発揮して事業を発展させるため、正規職員転換を1名行った。
- ・ 離職率を低下させ人材の確保を図ることを目的に、嘱託職員及びパート職員へ退職金を支給するため、就業規則を改正した。

7 理事会・評議員会

- ・ 理事会を9回、評議員会を3回開催した。詳細は、令和5年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

8 監事監査

- ・ 現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和5年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

9 設備投資（法人全体に及ぶもの）

（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
防犯カメラ（更新・設置）	一式	1,155,000	1,155,000	屋内4か所更新、屋外3か所増設
火災受信機（自動火災報知設備更新）	一式	5,280,000	5,280,000	受信機1台、メッセージ表示機3台

10 ハートフル五明浴室改修工事

- ・ 高齢化、重度化する入所者への支援を効果的、効率的に行うため浴室を改修して特殊浴槽を設置する。

- ・ 令和5年度社会福祉施設等施設整備費補助金を活用（国・市から概算事業費の3/4を補助）

工期：令和6年1月22日～5月31日 事業費：工事請負金額 70,062,000円（税込）

（変更契約し令和6年度に繰越） 実施設計・監理業務 4,070,000円（税込）

11 その他

- ・ 長野県から社会福祉施設等価格高騰対策支援金4,760千円の交付を受けた。
- ・ 長野市新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金159千円の交付を受けた。
- ・ 令和5年10月から開始されたインボイス制度へ対応するため会計ソフト等のバージョンアップを行った。
- ・ 信州あんしんセーフティネット事業に対する永年の協賛に対して、令和5年度長野県社会福祉協議会会長表彰を授与された。

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

区分	定員	計画	実績
施設入所支援	40人	20人	19.4人/月
生活介護	40人	46人	43.5人/月
就労継続支援B型	20人	20人	18.8人/月
短期入所	2人	—	延べ 170人/日
就労移行支援	休止 ⇒ 廃止 (R5.12.31)		

新型コロナウイルス、インフルエンザの予防接種実施をはじめとする感染対策を行った。令和6年1月には入所者及び職員18人が新型コロナウイルスに感染するなど、感染症を完全に予防することはできなかったが、重症化や更なる感染拡大の防止に効果があった。

1 施設入所支援

- ・ これからの暮らし方の選択に資する情報提供に努め、選択結果に沿った支援を行った。
- ・ 入所事業一元化に向けた準備を十分に整えられていない。

2 生活介護

(1) 日中活動

- ・ 昨年度取り入れた長野県障がい者福祉センターの出張スポーツ教室が好評のため、継続して実施している。
- ・ 利用者の適性にあった生産活動を提供した。
- ・ 実習希望者を積極的に受け入れた。

(2) 生活面

- ・ 支援員・看護師・栄養士が連携し、健康状態や生活環境の維持・改善に向けた支援を続けている。

3 就労継続支援B型

(1) 生産活動

- ・ コロナ禍で利用者の休暇もあったが、作業量を確保して工賃の維持に努めた。
- ・ 新たな発注に対応するために作業方法を改善するなどの支援を行った。

(2) 生活面

- ・ 新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、安全に作業ができるように支援した。

4 短期入所

- ・ 入所施設への新型コロナウイルスの影響を避けるため、感染状況に応じた事業運営を行った。

5 就労移行支援

- ・ 令和5年12月31日をもって廃止した。

6 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月1回の診察と年1回の結核検診、2年に1回の心電図検査を行った。
- ・ 必要に応じて血液検査等各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援を行った。
- ・ 生活習慣改善の必要性の啓発と疾病予防の支援を行った。
- ・ スキンケアが習慣化し、乾燥性皮膚炎等皮膚トラブルの早期発見と悪化防止ができた。
- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有できた。

(3) 口腔ケア

- ・ 歯科衛生士と連携をとり、情報を共有できた。

- ・ 口腔内の健康維持の必要性を理解してもらい、定期的歯科検診を推奨した。

(4) 感染症対策

- ・ 健康チェックを毎日行った。
- ・ 職員が、研修等で感染症対策の知識を習得し対応の確認を行った。
- ・ 新型コロナウイルスやその他の感染症の知識を習得・情報収集し、発生時にはスムーズに対処できた。
- ・ マスクの常時着用を奨励し、手洗い、うがい、アルコール消毒を徹底した。
- ・ ワクチンの有効性を理解してもらい、新型コロナウイルス、インフルエンザ等のワクチン接種を推奨した。入所利用者については、施設での集団接種を実施した。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員と看護師で共有し、安全確実に実施できた。

7 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 嗜好や季節感を取り入れ、楽しく温かい食事を提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、療養食を提供又は中止を嘱託医に提案するなど、生活全般の中で個別に食を通じた支援を実施した。
- ・ 必要に応じて咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を年1回実施した。その際、対象者に療養食の必要性と内容について説明した。
- ・ 選択食の日を設け、事前にメニューを掲示した。また、献立表や掲示板への栄養情報の掲示により情報を発信した。

(4) 感染症対策

- ・ 衛生管理の徹底を委託事業者に指示し、食中毒や感染症を防止した。
- ・ 新型コロナウイルスの発生時には、各職種間で連携し、使い捨て食器への変更など円滑な対応した。

(5) 非常災害時対策

- ・ 備蓄品を定期的に確認し、防災訓練時には備蓄食料品の内容、保管場所などの説明を行った。

(6) 委託事業者との連携

- ・ 定期的なミーティングの機会を設け、食品衛生、個別対応などの確認を行った。

8 レクリエーション・行事

- ・ 本年度も新型コロナウイルスの感染防止のためグループ行楽、納涼祭、コロニー祭、宿泊旅行は中止したが、納涼七夕週間やハロウィンウィークの行事を実施した。

9 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
防犯カメラ	一式	541,000	541,000	(事業所間で按分)
火災受信機	一式	3,010,000	3,010,000	(事業所間で按分)
プレス機・転写マット 一式更新	一式	1,166,000	1,166,000	

10 利用者実績等

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	6,958人	7,339人	△381人	94.8%
	開所日数	366日	365日	1日	100.3%
	平均利用者数	19.0人/日	20.1人/日	△1.1人/日	94.5%
	平均利用率	47.5%	50.3%	△2.8%	94.4%
生活介護	延べ利用者数	9,345人	9,503人	△158人	98.3%
	開所日数	238日	242日	△4日	98.3%
	平均利用者数	39.3人/日	39.3人/日	0人/日	100.0%
	平均利用率	98.3%	98.3%	0.0%	100.0%
就労継続 支援B型	延べ利用者数	3,754人	3,326人	428人	112.9%
	開所日数	238日	242日	△4日	98.3%
	平均利用者数	15.8人/日	13.7人/日	2.1人/日	115.3%
	平均利用率	78.9%	68.5%	10.4%	115.2%
短期入所	延べ利用者数	170人	133人	37人	127.8%
	開所日数	366日	365日	1日	100.3%
	平均利用者数	0.5人/日	0.4人/日	0.1人/日	125.0%
	平均利用率	25.0%	20.0%	5.0%	125.0%

【売上高】

(単位：円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	4,899,893	5,600,000	87.5%
		6,006,784	81.6%
就労継続支援B型	7,056,488	7,000,000	100.8%
		6,160,808	114.5%

【工賃】

(単位：円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	4,109,092	4,846,716	△737,624	84.8%
	平均月額	9,448	9,429	19	100.2%
就労継続 支援B型	総額	5,154,886	4,860,323	294,563	106.1%
	平均月額	30,111	23,711	6,400	127.0%

※当期実績から平均月額の算出計算式が変更になっています。

【苦情受付】

受付件数	内 容	処理結果
1 件	利用者に対して不適切な発言があった。	解決済み 所長・発言者から利用者及び親族に謝罪した。

Ⅲ ハートフル五明 障害者支援施設

区分	定員	目標 利用者数	実績
施設入所支援	40 人	22 人	21.8 人/月
生活介護	40 人	23 人	22.8 人/月

- サービスの安定・向上のため、また人材育成のため、外部研修に参加する機会や支援員間で学びあう機会を積極的に設けた。
- 入所の一元化に向けてサービス提供体制の検討を続けた。

1 日常生活上の支援

(1)介護

- 利用者ニーズを把握し、ニーズに応じた、適切な介護サービスを提供した。
- サービスの質を安定・向上させるために介護手順書を作成し、介護技術の標準化を図った。
- 適切な介護技術で介護を行うため、外部研修に積極的に参加し、研修で学んだことを支援員間で技術伝達を行った。

(2)入浴

- 利用者ニーズに応じた介助機器（特殊浴槽等）の整備、入浴方法を検討した。
- 入浴介助は週に2回以上を基本とし、必要に応じて清拭、シャワー浴、着替えを行い、清潔を保持した。

(3)機能維持訓練

- 口腔機能維持のため、歯科検診・通院・口腔嚥下体操の支援を継続した。
- 医療機関の理学療法士と連携し、身体機能維持訓練を見直した。

(4) 通院付き添い

- ・ 日々のバイタルチェックや顔色など状態の変化に気を付け、看護師と連携して対応した。
- ・ 健康状態についてご家族に定期的に報告し、通院等の協力を依頼したが、高齢や仕事、遠方等の理由で協力を得られにくい状況であった。

2 日中活動の支援

- ・ 感染症対策を行い、小人数・短時間で取り組める日中活動を提供した。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月1回の診察と年1回の結核検診、2年に1回の心電図検査を行った。
- ・ 必要に応じて血液検査等の各種検査を行った。

(2) 口腔ケア

- ・ 協力指定医による歯科健診を年2回行った。
- ・ 歯科医師、歯科衛生士からの助言のもと口腔内の衛生保持に努めた。
- ・ 嚥下機能の低下とそれに伴う誤嚥性肺炎の予防の支援を行った。
- ・ 通院困難な利用者を訪問診療に切り替えた。

(3) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援をした。
- ・ 足の爪の巻き爪や変形による皮膚トラブルを予防するため、定期的に様子を確認し爪切りを行った。
- ・ 支援員、栄養士、看護師で情報を共有できた。

(4) 感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の知識を習得・情報収集し、発生時の対処に備えることができた。
- ・ マスクの常時着用は難しいため、適宜に着用してもらった。
- ・ 手洗い、うがいの動作が困難な利用者にアルコール消毒を有効活用した。
- ・ 新型コロナウイルスワクチン等の有効性を理解してもらい、ワクチン接種を推奨した。
- ・ 感染症対策について、研修等で対応の確認を行った。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員間で共有し、安全確実に実施できた。

4 給食

(1) 楽しく温かい給食

- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事とし、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、口腔、嚥下、身体の状況に合わせた食事を提

供した。

- ・ 療養食を提供した。
- ・ 咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事が提供でき、むせや誤嚥性肺炎を予防した。
- ・ 歯科衛生士の助言を基に、食形態の変更等を検討した。
- ・ 必要に応じて栄養補助食品の提案ができ、個々の栄養量の維持ができた。

(3)満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。
- ・ 掲示板を活用した食情報の発信を行った。

(4)食中毒・感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防した。
- ・ コロナ発症時は使い捨て食器へ切替えるなど円滑に対応した。

(5)非常災害時対策

- ・ 備蓄食品等を定期的を確認し、防災訓練時には備蓄食品の内容、保管場所などの説明を行った。

(6)委託業者との連携

- ・ HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。
- ・ 療養食、代替食等は個別に対応した。
- ・ 安全安心な食事作りを行った。
- ・ 定期的なミーティングの機会を設け、食品衛生、個別対応などの確認を行った。

5 行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて実施の可否を判断し、開催の時期・規模・形態を検討して実施した。
 - ・ 納涼ウィーク
 - ・ ハロウィンウィーク
 - ・ 忘年会

6 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	金額	備考
浴室改修工事(特殊浴槽)		31,328,000	設計料 3,080,000 ACA 設計 工事費前払 28,248,000 千広建設 社会福祉施設等施設整備国庫補助金
火災受信機	一式	2,290,000	(事業所間で按分)
移乗サポートロボット	1台	875,000	ロボット等導入支援事業
防犯カメラ	一式	414,000	(事業所間で按分)
昇降式ストレッチャー	1台	314,600	

7 利用者実績

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	7,976 人	8,324 人	△348 人	95.8%
	開所日数	366 日	365 日	1 日	100.2%
	平均利用者数	21.7 人/日	22.8 人/日	△1.1 人/日	95.1%
	平均利用率	54.2%	57.0%	△2.8 割	—
生活介護	延べ利用者数	6,025 人	6,266 人	△241 人	96.1%
	開所日数	270 日	269 日	1 日	100.3%
	平均利用者数	22.3 人/日	23.3 人/日	△1 人/日	95.7%
	平均利用率	55.7%	58.2%	△2.5 割	—

IV はあてい若槻 多機能型事業所

区 分	定 員	計 画	実 績
生活介護	16 人	13 人	12.3 人/月
就労継続支援 B 型	25 人	30 人	29.0 人/月

- ・ 個別支援計画を基に必要なサービスを提供し、定期的に見直しを行った。
- ・ 利用者に朝の健康確認を行い、体調が悪そうな利用者にはすぐに簡易検査キットによる検査を行い、新型コロナウイルスの感染予防に努めた。また、利用者の皆さんの共用部分の消毒は継続して行った。

1 生活介護

- ・ 利用者の生活が充実するように事業を行った。
- ・ 生産活動は個々の状況に合わせて提供した。
- ・ 月に2回の音楽療法を再開させ、感染症の予防に努めながら行った。

2 就労継続支援 B 型

- ・ 利用者が日々の仕事にやりがいを持てるように支援した。また、新たな仕事に取り組めるよう、仕事の幅が広がるよう利用者の支援に努めた。
- ・ 安定した作業量を確保しようと努めたが、工賃の増加に至るまでの作業量は確保できなかった。

3 保健

- ・ 利用者・職員共に、体調不良の時には迅速な対応を行い、必要な対策を行った。
- ・ 新型コロナウイルスは5類に移行し生活様式も変わったが、気を緩めることなく感染対策

を行い、利用者にも今までと変わりなく対策を行うよう、時々啓発を行った。

4 レクリエーション・行事

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況により、宿泊旅行、コロニーまつりは中止し、代替行事を行った。
- ・ 土曜レクリエーションは、新型コロナウイルス発生前の実施状況に近づけることができた。

5 設備投資

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
送迎車(日産セレナ)	1台	3,427,200	1,187,200	(日本財団補助) 2,240,000
食堂棟 冷蔵庫	1台	401,500	401,500	

6 利用実績

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	2,335人	2,382人	△47人	98.0%
	開所日数	248日	242日	6日	102.5%
	平均利用者数	9.4人/日	9.9人/日	△0.5人/日	94.9%
	平均利用率	58.8%	62.0%	△3.2%	—
就労継続 支援B型	延べ利用者数	5,755人	5,324人	431人	108.0%
	開所日数	248日	242日	6日	102.5%
	平均利用者数	23.2人/日	22人/日	1.2人/日	105.5%
	平均利用率	92.8%	88.0%	4.8%	—

【売上高】

(単位円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	191,791	207,000	92.7%
		207,164	92.6%
就労継続支援B型	4,385,974	4,840,000	90.6%
		4,982,671	88.0%

【工賃】

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	174,317	188,337	△14,020	92.5%
	平均月額	1,201	1,308	△107	91.8%
就労継続支援B型	総額	4,006,421	4,502,685	△496,264	88.9%
	平均月額	11,995	14,385	△2,390	83.3%

V 長野福祉工場 就労継続支援 A 型事業所

区分	定員	計画	実績
就労継続支援 A 型	40	41	38.3 人/月

1 印刷事業

- ・ 売上実績 3 億 2,113 万円、加工高実績 1 億 5,469 万円
- ・ 営業職員を 1 名補充できたが、業務量の適正化には課題を残した。
- ・ 長野県健康福祉部障がい者支援課及び長野県セルフセンターにより開催された「障がい者優先調達に係る情報交換会」伊那会場と上田会場に参加し、各地域からの受注を伸ばしている。
- ・ 昇華転写製品の受注を増やすため、縫製部と連携し昇華転写製品の商品開発を検討したが、昇華転写部門は人員不足となっており、また、外注作業も増加していることから、商品開発は進められなかった。
- ・ 研修については、基本的に OJT として取組み、少しずつではあるが知識を身に付け、取引先からの信頼を得るよう努めた。
- ・ アクアリウム事業については多方面から検討を行い、具体的な撤退計画の策定に必要な情報を揃えた。
- ・ 個別の作業方法を確認し、効率の良い作業ができるように研修を行い、作業者の技術格差の解消につなげることができた。
- ・ 上長からの研修を行い、内部使用する印刷物のプレゼン・外部のコンテストへの出品を行うことにより、デザイン力の強化を図ることができた。
- ・ 第 43 回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）が愛知県で開催され、印刷部制作課から DTP 部門に 1 名が参加をし、当事業所から 2 年連続で金賞を受賞した。
- ・ 点検のチェックリストを作成し、手順の見直しを行った。今後も手順の見直しを行い、チェックリストの追記・修正を行っていく。
- ・ 入稿受付表を活用する代わりに、作業指示書の修正や納期の調整等で営業課員のフォローを行った。
- ・ 各課のスケジュール調整や外注加工物の選定等を行い、作業の効率化と残業時間の削減を図った。
- ・ 資材や外注価格が高騰する中、付合せ印刷や資材の一括購入、価格の交渉等を行い、経費削減を図った。
- ・ オフ輪はメンテナンスを重視した結果、稼働率低下により外注費が大幅に増額となったが、その結果、検討していた新規協力会社でのテスト印刷を進めることができた。
- ・ 利用者の障害の重度化、高齢化、特定の作業者の負担増に対応するため、製本関係機器の見学会等に参加し、機器の更新と新規導入について選定を行ったが、具体的な計画、補助申請には至らなかった。

2 縫製事業

- ・ 売上1億6,480万円 加工高実績5,855万円
- ・ 資材費の高騰を価格に反映する販売を行うことができた。
- ・ 受注増により内部研修の時間が取れなかったため、作業の中で担当工程以外の作業が行えるようOJTに取り組んだ。
- ・ GPSポケット付きゼッケンの作業工程の確立に努めたが、仕様変更などがあり、今後も作業工程を変更していく必要が生じた。
- ・ 新規商品のマニュアル、サンプル作製を行い、既存商品については、必要なマニュアル、サンプルの更新作製を行った。
- ・ 昇華転写作業について、得意、不得意などの確認を行いながら人員配置を検討したが、欠員により人員不足が解消できなかった。

3 福祉事業

(1) 支援課職員としての役割と支援技術の向上

- ・ 支援課会議において事例の共有や支援の質を高めるための意見交換等を行い、支援課職員としての役割の確認と支援技術の向上を図った。

(2) 支援の専門性の向上

- ・ 内部研修や外部研修、各種セミナー等へ積極的に参加をし、見識を広げ福祉の専門性を高めた。

(3) 利用者の確保、利用率の向上、仕事量の確保

- ・ インターネットを活用した施設案内や求人募集と、見学の受け入れや障害者就職面接会に参加し、利用者の確保及び関係機関との連携を図った。
- ・ 声掛けや面談、業務量の調整、関係機関との連携を図り、利用者が継続して利用できるように努めた。
- ・ 新規の福祉サービス事業の検討には至らなかったが、報酬改定等の情報収集に努めつつ、基本報酬（スコア方式）の増加に向け規程の整理等の対応を行った。

(4) 健康保持の支援

- ・ 看護師による健康相談、定期健康診断、感染症予防対策を行った。

4 設備投資等

(単位:円)

購入設備等	数量	単価	金額	備考
営業車両 スズキ エブリイバン	1	1,498,200	1,498,200	5年リース 月額24,970円/台
営業車用ドライブレコーダー	6	37,950	227,700	
デスクトップPC (管理、営業)(Win11)	4	149,160	596,640	
AdobeCC	2	29,238	58,476	
ウチダテクノ製 穿孔機	1	418,880	418,880	
プリンタクト、サーバー、バージョンアップ	1	1,078,000	1,078,000	

カッティングプロッター	1	149,600	149,600	
オンデマンド機移設先仕切壁工事	1	446,930	446,930	
オンデマンド機移設代	2	35,000	70,000	リコー2台

【売上高】

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	321,132	305,810	105.0%
		310,083	103.6%
縫製	164,804	153,220	107.6%
		147,820	111.5%

【加工高】

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	154,693	163,450	94.6%
		156,175	99.1%
縫製	58,549	56,700	103.3%
		58,122	100.7%

【賃金】

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金（総額）	81,927,204	72,477,595	9,449,609	113.0%
賃金（平均額）	178,258	161,925	16,333	110.1%

【利用者数】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	8,230人	8,232人	△2人	99.98%
開所日数	240日	241日	△1日	99.6%
平均利用者数	34.3人/日	34.2人/日	0.1人/日	100.3%
平均利用率	85.7%	85.4%	0.3ポイント	—

VI 地域生活支援センターコロニー 共同生活援助（グループホーム）

【利用者数】

名 称	定 員	計 画	実 績	バックアップ施設
さいなみほ～む	4人	1人	1.0人	ワークサポート篠ノ井
うわのほ～む	2人	2人	2.0人	はあてい若槻
グループホームせはらだ	4人	4人	3.0人	ワークサポート篠ノ井

- ・ 定期的に世話人会議を行い、情報を共有しながら利用者支援を行った。利用者の情報を共有することにより、統一した支援を行うことができた。
- ・ うわのほ～む2号棟の利用希望が3年間なかったため、2号棟を廃止した。
- ・ GHせはらだの利用者補充に努めたが、問い合わせはあったが利用に至らなかった。

VII あいくる 相談支援事業所

【利用状況】

区 分			当期実績	前期実績	増減	前期比	
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	110人	103人	7人	106%
			モニタリング	274人	275人	△1人	99%
	児童	サービス利用支援	11人	13人	△2人	84%	
		モニタリング	17人	23人	△6人	73%	
		地域相談支援一般・地域移行支援	0人	0人	0人	0%	
障害支援区分認定調査			3人	0人	3人	—%	

- ・ 相談支援専門員のスキルアップのため、研修へ積極的に参加した。
- ・ サービスの質向上、人材育成のため、相談支援事業の体制を整えた。

【設備投資】

(単位：円)

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
防犯カメラ	一式	100,000	100,000	(事業所間で按分)
火災受信機	一式	100,000	100,000	(事業所間で按分)

VIII すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

- ・ サービス開始前及び終了後にミーティングを行い、支援者間で情報の共有や振り返りを行い、個別支援計画に沿った支援を実施した。
- ・ サービス提供中も支援者間の情報共有に努め、支援の連携を図った。
- ・ 保護者面談・保護者会を実施し、ニーズの把握と保護者間の情報交換を実施した。
- ・ 利用者のご理解を得て、感染症対策に取り組み、感染予防と事業の継続に努めた。

【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	2,637 人	2,701 人	△64 人	97.6%
開所日数	248 日	248 日	0 日	100.0%
平均利用者数	10.6 人	10.9 人	△0.3 人日	97.2%
平均利用率	106.0%	109.0%	△3.0 割	97.2%

【障害児自立サポート 利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	655 人	701 人	△46 人	93.4%

【設備投資】

(単位:円)

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
エアコン	1 台	1,474,000	1,474,000	
置去り防止装置	3 台	174,900	524,700	全額公費補助
防犯カメラ	一式	100,000	100,000	(事業所間で按分)
火災受信機	一式	100,000	100,000	(事業所間で按分)

Ⅸ ふれんど 障害児自立サポート事業所

- ・ 令和5年6月をもって事業を廃止した。

令和5年度 会議・行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1) 理事会

年月日	議 題 等	場 所
5.5.19	第1回理事会 議案第1号 令和4年度資金収支補正予算書（第5号）	篠ノ井施設
5.6.12	第2回理事会 報告第1号 令和4年度職務執行状況報告 議案第2号 令和4年度事業報告 議案第3号 令和4年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第4号 令和4年度の社会福祉充実残額 議案第5号 令和5年度資金収支補正予算書（第1号） 議案第6号 障害児自立サポート事業所ふれんどの廃止 議案第7号 障害児自立サポート事業ふれんど運営規程の廃止 議案第8号 施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第9号 長野福祉工場職員の処遇改善金支給基準の一部改正 議案第10号 理事及び監事の選任 議案第11号 苦情解決第三者委員の選任 議案第12号 令和5年度定時評議員会の招集	篠ノ井施設
5.6.27	第3回理事会 議案第13号 理事長選定 議案第14号 令和5年度資金収支補正予算書（第2号） 議案第15号 ハートフル五明浴室改修工事実施設計・監理業務委託契約	篠ノ井施設
5.7.24	第4回理事会 議案第16号 令和5年度資金収支補正予算書（第3号） 議案第17号 長野福祉工場建替え計画日本財団応募デザイン作成業務委託契約	篠ノ井施設
5.10.10	第5回理事会 議案第18号 令和5年度資金収支補正予算書（第4号） 議案第19号 指定障害者支援施設ワークサポート篠ノ井就労移行支援事業の廃止 議案第20号 指定障害者支援施設ワークサポート篠ノ井運営規程の一部改正 議案第21号 社会福祉法人ながのコロニー組織運営規程の一部改正	篠ノ井施設

5. 11. 17	第 6 回理事会 報告第 2 号 令和 5 年度職務執行状況報告 報告第 3 号 令和 5 年度中間決算報告 議案第 22 号 令和 5 年度資金収支補正予算書 (第 5 号) 議案第 23 号 令和 5 年度第 2 回評議員会の招集	篠ノ井施設
5. 12. 27	第 7 回理事会 報告第 4 号 ハートフル五明浴室改修工事の一般競争入札 (再入札) について 議案第 24 号 令和 5 年度資金収支補正予算書 (第 6 号) 議案第 25 号 篠ノ井施設火災受信機 (自動火災報知機設備) 更新設置工事の指名競争入札について 議案第 26 号 日本財団助成の福祉車両購入契約	篠ノ井施設
6. 1. 15	第 8 回理事会 議案第 27 号 ハートフル五明浴室改修工事請負契約 議案第 28 号 篠ノ井施設火災受信機 (自動火災報知機設備) 更新設置工事請負契約	篠ノ井施設
6. 3. 14	第 9 回理事会 議案第 29 号 令和 6 年度事業計画書 議案第 30 号 令和 6 年度資金収支予算書 議案第 31 号 令和 5 年度資金収支補正予算書 (第 7 号) 議案第 32 号 社会福祉法人ながのコロニー経理規程の一部改正 議案第 33 号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及びパート職員就業規則の一部改正 議案第 34 号 施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第 35 号 長野福祉工場職員の処遇改善金支給基準の一部改正 議案第 36 号 ハートフル五明浴室改修工事請負契約の変更 議案第 37 号 ハートフル五明浴室改修工事実施設計・監理業務委託契約の変更 議案第 38 号 理事の辞任 議案第 39 号 理事の選任 議案第 40 号 事業所長等の選任 議案第 41 号 令和 5 年度第 3 回評議員会の招集	篠ノ井施設
(2) 評議員会		
年月日	議 題 等	場 所
5. 6. 27	第 1 回評議員会 報告第 1 号 令和 4 年度事業報告 議案第 1 号 令和 4 年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第 2 号 理事及び監事の選任	篠ノ井施設

5.11.28	第2回評議員会 報告第2号 令和5年度中間決算報告	篠ノ井施設
6.3.26	第3回評議員会 報告第3号 令和6年度事業計画書及び令和6年度資金収支予算書の報告 報告第4号 事業所長等の選任の報告 議案第3号 理事の選任	ふれあい福祉センター
(3)監査会		
年月日	内 容 等	場 所
5.4.3	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
5.5.29	決算監査	篠ノ井施設
5.6.2	決算監査	長野福祉工場
5.11.15	中間監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等		
年月日	会議・行事等	場 所
定 期 開 催	経営会議（毎月）	篠ノ井施設・長野福祉工場 （交互開催）
	施設運営会議（毎月）	篠ノ井施設
	安全衛生委員会（毎月）	長野福祉工場
	衛生委員会（毎月）	篠ノ井施設・はあてい若槻
	職員会議（毎月）	篠ノ井施設 はあてい若槻
	支援課会議（毎月）	長野福祉工場
	部課長会議（毎月）	長野福祉工場
	ハートフル五明浴室改修工事定例会議（R6年1月から隔週1回）	篠ノ井施設
	囑託医による診察（毎月）	篠ノ井施設・はあてい若槻

	歯科口腔健診（年2回）	ハートフル五明
不 定 期 開 催	ワークサポート篠ノ井 サンアップルによる出張スポーツ教室（年5回）	篠ノ井施設
	長野福祉工場建替え計画基本構想策定会議（年4回）	長野福祉工場
	BCP ワーキング（年5回）	篠ノ井施設
5.4.7	長野県議会議員一般選挙不在者投票（入所利用者）	篠ノ井施設
5.4.10	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
5.4.11	はあてい若槻お花見ドライブ&レクリエーション（利用者34名、職員11名） ※19日までに2日間の日程で、2班に分けて実施	中野市・はあてい若槻
5.4.22	ながのコロニー後援会 監査会・総会	篠ノ井施設
5.5.17	ハートフル五明「テイクアウトランチ」（利用者23名）	ハートフル五明
5.5.24	春の防災訓練	若槻施設
5.5.26	春の防災訓練	篠ノ井施設
5.6.5	虐待防止委員会	篠ノ井施設
5.6.20	新型コロナワクチン接種6回目（入所利用者）	篠ノ井施設
5.6.28	はあてい若槻「夏至祭り」（利用者31名、職員10名）	篠ノ井施設
5.7.1	全国安全週間 ～7日	篠ノ井施設・若槻施設
5.7.12	ワークサポート篠ノ井「テイクアウトグルメ」（通所利用者32名）	ワークサポート篠ノ井
5.7.13	ワークサポート篠ノ井「テイクアウトグルメ」（入所利用者20名）	ワークサポート篠ノ井
5.7.23	第49回ながのアビリンピック（利用者2名、職員1名）	ポリテクセンター長野
5.8.1	納涼・七夕週間 ～4日（利用者70名）	篠ノ井施設
5.8.4	虐待防止委員会	篠ノ井施設
5.9.9	非常通報運用訓練	篠ノ井施設・若槻施設
5.9.10	上野区自主防災訓練	昭和の森公園
5.9.15	長野市議会議員選挙不在者投票（入所利用者）	篠ノ井施設
5.9.27	映画観賞会（入所利用者11名）	篠ノ井施設
5.10.10	防災訓練	さいなみほ～む グループホームせはらだ

5. 10. 11	防災訓練	若槻施設 うわのほ～む
	入所利用者胸部 X 線検査	篠ノ井施設
5. 10. 18	防災訓練	篠ノ井施設
5. 10. 21	はあていフェスティバル（利用者 26 名、職員 8 名）	はあてい若槻
5. 10. 24	篠ノ井施設ハロウィンウィーク ～27 日（利用者 70 名）	篠ノ井施設
5. 11. 2	はあてい若槻利用者健康診断（希望者のみ）	長野福祉工場
	職員定期健康診断	長野福祉工場
5. 11. 7	インフルエンザ予防接種（入所利用者）	篠ノ井施設
5. 11. 15	職員定期健康診断	篠ノ井施設
5. 11. 17	一般競争入札（ハートフル五明浴室改修工事）	篠ノ井施設
	第 43 回全国障害者技能競技大会 ～19 日	愛知県国際展示場
5. 11. 22	入所利用者心電図検査	篠ノ井施設
5. 12. 5	新型コロナワクチン接種 7 回目（入所利用者）	篠ノ井施設
5. 12. 13	ハートフル五明忘年会（利用者 23 名）	篠ノ井施設
5. 12. 15	はあてい若槻忘年会（利用者 33 名、職員 12 名）	はあてい若槻
5. 12. 29	ワークサポート篠ノ井年末慰労会（利用者 19 名）	篠ノ井施設
6. 1. 10	利用者成人式（対象者 1 名：はあてい若槻通所者）	はあてい若槻
	指名競争入札（火災受信機更新設置工事）	篠ノ井施設
6. 1. 15	一般競争入札（ハートフル五明浴室改修工事）	篠ノ井施設
	虐待防止委員会	篠ノ井施設
6. 2. 5	ハートフル五明浴室改修工事 ～5 月末（予定）	ハートフル五明
6. 2. 9	すまいる保護者会	篠ノ井施設
	長野市集団指導	オンライン
6. 3. 20	火災受信機更新設置工事	篠ノ井施設
6. 3. 23	ながのコロニー後援会役員会	篠ノ井施設
6. 3. 27	感染症対策委員会	篠ノ井施設

3 研修会・講習会等		
年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
定期開催	理学療法士によるハートフル五明支援への技術指導（月1回）	篠ノ井施設
5.4.11	（一財）長野経済研究所主催 新入社員研修 2名	ホテル信濃路
5.4.18	応急手当普及員講習 ～20日（延べ3日間）	篠ノ井消防署
5.4.25	ユニチャーム研修会「おむつの正しい使い方」 ハートフル五明職員 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設
5.5.1	令和5年度第1回ノーリフティング基礎研修 3名 ～6/30	オンライン
5.5.14	福祉スキルアップ研修会「栄養ケアマネジメント」	オンライン
5.5.17	応急手当講習会 ハートフル五明職員 ～26日（講習と実技をそれぞれ3回に分けて実施）	篠ノ井施設
5.5.22	障がい福祉サービス従事者新人研修 2名	オンライン
5.5.23	介護職員初任者研修 ～10/10（全16回）	ニチイ学館大豆島教室
5.5.31	福祉経営セミナー 2名	JA長野県ビル
5.6.1	人材育成・研修担当者向け 新人育成担当者研修 ～7/11（延べ2日間）	ホテル信濃路
5.6.6	令和5年度第1回障害者虐待防止・権利擁護研修会 7名	長野市東部文化ホール・オンライン
5.6.8	長野圏域子育て福祉勉強会「特別支援教育が大切にしていること」 2名	森と木
5.6.13	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） ～14日	オンライン
5.6.14	長野県災福ネットふくしチーム員養成・更新研修 2名	ホクト文化ホール
5.6.15	地域づくり推進研修「学校の中の発達障害」 8名	オンライン
5.6.16	安全運転管理者等講習会	長野市東部文化ホール
5.6.20	社会保険算定基礎届事務講習会	ホクト文化ホール
5.6.28	障害者虐待防止 福祉工場利用者 ※同日に2回に分けて実施	長野福祉工場
5.6.29	安全運転管理者等講習会	ロイヤルホテル長野
	障害者虐待防止 若槻施設職員 ※同日2回に分けて実施	はあてい若槻
5.7.3	福祉経営研究機構主催オンラインセミナー「エネルギーコスト増と社会福祉法人」	オンライン
5.7.6	虐待防止・身体拘束研修会 篠ノ井施設職員 ～7日 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設

5.7.7	管内保健医療福祉関係者等研修会（難病対策）	リサイクルプラザ
5.7.26	特殊浴槽研修会 4名	いつわ苑
5.8.23	長野県サービス管理責任者更新研修 ～24日（延べ2日間）	オンライン
5.8.25	ユニ・チャーム研修会「陰部洗浄」 ハートフル五明職員 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設
5.9.6	長野県経営協セミナー（前期） 2名	長野県自治会館
5.9.7	ハラスメント研修会 若槻施設職員 ※2日に分けて1日 2回ずつ実施	はあてい若槻 長野福祉工場
5.9.13	人権講座「カスタマーハラスメント及び障害者の人権」	オンライン
5.9.14	ゼンコロスキルアップ研修 2名	オンライン
5.9.22	事業主・公正採用選考人権啓発推進員研修会	ホクト文化ホール
5.10.3	ストレス対処法研修会 若槻施設職員 ※2日に分けて1 日2回ずつ実施	はあてい若槻 長野福祉工場
5.10.12	ノーリフティング一般研修 2名 ～13日	グレイスフル塩尻
	長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会 3名	東部文化ホール・オ ンライン
5.10.13	社会保険事務講習会	若里市民文化ホー ル
5.10.16	精神保健福祉担当者基礎研修会 ハートフル五明職員 ※3日に分けて実施	オンライン
5.10.17	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「高齢者雇 用セミナー」	ホテル信濃路
5.10.18	社会福祉法人の「決算書の読み方」講座	浅間温泉文化セン ター
5.10.20	福祉職員生涯研修 新任管理者課程	篠ノ井交流センタ ー
	発達障がい支援者研修会 7名	オンライン
5.11.1	障害福祉サービス事業所等の管理者向け障がい者虐待防 止・権利擁護研修	オンライン
	危険物取扱者保安講習	ホクト文化ホール
5.11.9	長野市相談支援専門員等スキルアップ研修 3名	東部文化ホール
5.11.14	福祉職員生涯研修 新任職員課程 ～12/19（延べ3日間）	長野地域職業訓練 センター
5.11.21	年金委員・健康保険委員合同研修会	ホクト文化ホール
5.11.22	社会福祉法人の経営分析基礎研修	浅間温泉文化セン ター
5.11.27	社会福祉法人の経営力強化「財務会計と労務管理」	オンライン

5. 11. 28	福祉就労強化事業「工賃向上計画セミナー（Ⅱ）」	長野県総合教育センター
5. 12. 5	就労選択支援事業ミニセミナー	オンライン
5. 12. 11	長野県サービス管理責任者更新研修 ～12/12（延べ2日間）	オンライン
5. 12. 14	管内栄養士研修会	長野市保健所
	ゼンコロ発達障害者研修	オンライン
5. 12. 16	長野圏域発達障がい診療地域連絡会 講演会・シンポジウム 「性的な課題を抱える発達障がい児者の支援」 2名	しなのき
5. 12. 27	介護職員初任者研修 ～5/15（全16回）	ニチイ学館篠ノ井教室
6. 1. 12	長野市相談支援専門員等スキルアップ研修 3名	長野市役所
6. 1. 16	長野県経営協セミナー（後期） 2名	シャトレゼホテル
6. 1. 26	雇用保険適用照合省略事業所事務担当者研修会	篠ノ井交流センター
6. 1. 31	相談支援専門員・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者専門コース別研修（意思決定支援）	オンライン
6. 2. 6	個別支援計画作成研修	オンライン
6. 2. 7	長野市企業人権教育推進協議会人権研修会	オンライン
	労務管理改善リーダー研修	長野合同庁舎
6. 2. 8	ゼンコロ 2024年報酬改定学習会 2名	オンライン
6. 2. 13	特定給食施設従事者研修会	オンライン
6. 2. 19	障害福祉事業経営セミナー	TKP ガーデンシティ
6. 2. 27	権利擁護推進セミナー	オンライン
6. 3. 1	障害者虐待防止・権利擁護研修会	オンライン
6. 3. 5	直接処遇職員研修会 ～6日	安曇野市勇屋会館
6. 3. 21	福祉人材確保・定着支援セミナー	長野上水内教育会館

4 福祉現場実習・研修受入状況		
年月日	実習・研修名	場 所
7～11月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習（延べ4日間）7/4、9/27、10/20、11/21	篠ノ井施設

5.6.6	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～23日（延べ5日間）	はあてい若槻
	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～13日（延べ4日間）	はあてい若槻
5.6.13	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～15日（延べ3日間）	はあてい若槻
5.6.20	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～22日（延べ3日間）	はあてい若槻
5.7.10	職場実習1名（信大附属特別支援学校高等部2年生）～14日（延べ5日間）	はあてい若槻
5.7.18	社会福祉士相談援助実習1名（日本福祉大学）～24日（延べ24日間）	篠ノ井施設
5.10.12	職場体験学習受入れ1名（北部中学校2年生）～10/13（延べ2日間）	はあてい若槻
5.10.30	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部2年生）～31日（延べ2日間）	ワークサポート 篠ノ井
5.10.31	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～11/2（延べ3日間）	はあてい若槻
5.11.6	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～10日（延べ5日間）	はあてい若槻

5 視察・見学受入状況			
年月日	団体名等	人数	場所
5.5.12	エーシーエ設計	3	長野福祉工場
5.6.14	エーシーエ設計	4	篠ノ井施設
5.6.14	長野養護学校高等部1年生 生徒、先生	42	はあてい若槻
	若槻養護学校高等部1年生 生徒、先生	10	長野福祉工場
5.7.14	稲葉プロセス	1	ワークサポート 篠ノ井
5.7.19	JRA ファシリティーズ	3	ワークサポート 篠ノ井
5.7.25	信州大学教育学部附属特別支援学校 生徒、保護者、先生	11	はあてい若槻 長野福祉工場
5.9.25	長野県動物愛護センター	1	篠ノ井施設
5.9.26	長野市民生児童委員協議会障害者福祉部会（篠ノ井・信更・大岡地区）	8	篠ノ井施設
6.3.27	新潟県立上越特別支援学校 先生	6	篠ノ井施設